



平成22年度

小学生のための実践授業  
『公益学をはじめよう』の  
実施と公益コミュニティ  
サポーターの養成事業

(Koeki Kids Project、日本財団助成事業)

報告書



平成22年度

「小学生のための実践授業『公益学をはじめよう』の実施と  
公益コミュニティサポーターの養成」事業  
(Koeki Kids Project、日本財団助成事業)

報告書



## 報告書刊行にあたって

東北公益文科大学は、2001年4月、新しい世紀に求められる大学を目指し、「日本初の公益学の確立」と「大学まちづくり」を基本理念に掲げ、山形県庄内地域に開学した。物質的、金銭的豊かさから精神的豊かさや安心・安全な社会へと価値判断の基準が大きく変化している現代において、一個人や一組織の利益を超えた広く社会のための公益の概念が重要性を増している。公益について、既存の諸科学の成果や方法を活用しながら実証研究を積み重ね、新しい理論、方法論を総合的に構築しようとする学問が公益学である。学生に対しては、社会貢献、地域貢献の理論と手法を教育し、より良い社会づくりに向けて具体的に行動できる人材を育てることを目指している。

以上の公益学の構築を通じた学生への教育において重要なのが大学まちづくりである。大学と地域との関係性、大学が持つ能力の地域への還元が問い直されるようになって久しいが、本学は私立ながらも設立準備から山形県、庄内地域市町村、その他の関係組織・団体や住民と一体となって運営されてきた。小規模大学ということもあり、庄内地域全体が学びのキャンパスとして教育、課外活動、学生生活へ大きな協力、支援をして下さっている。学生にとって庄内地域は公益学を学ぶ出発点となる問題意識の醸成、その問題に取り組む担い手の理解、解決のための方法の研究を行うフィールドとなっており、教員については地域の具体

的な課題解決に向けた知的貢献が求められている。

本報告書の「小学生のための実践授業『公益学をはじめよう』の実施と公益コミュニティサポーターの養成」事業（通称Koeki Kids Project）は、以上の公益学の構築と大学まちづくりの両方の目的に根差すものである。本学学生が日ごろ学んでいる公益学を小学生に伝えるという実践的活動を通して、大学生は公益学のさらなる分析、整理を行い、自らの理解を深めることができ、また地域の子ども、学校教諭、保護者との関わりの中から地域への理解を広げることができる。一方で小学生は地域の大学生から学ぶことにより、他者やみんなにとって良いことを考えたり、実践することを身近に感じる事ができ、自分自身をとりまく生活環境について改めて考えるきっかけとなる。多くの先輩たちの公益活動によって地域が成り立っていることを知り、ふるさとへの思いが育まれることも期待される。

この活動は、日本財団からの助成により事業として発展させることができた。日本財団・公益チームの原田貴美子様、古川秀雄様、益崎慈子様にご挨拶申し上げます。また、公益教育研究会の先生方、酒田市浜田小学校の富樫春夫校長先生、富士見小学校の齋藤のり子校長先生、十坂小学校の鈴木清人校長先生をはじめとする各校の諸先生方からのご支援、ご指導に対しまして深く感謝申し上げます。

平成23年3月

東北公益文科大学  
Koeki Kids Project 2010

武田 真理子

▶ 目 次

報告書刊行にあたって	2
1・「小学生のための実践授業『公益学をはじめよう』の実施と 公益コミュニティサポーターの養成」事業 (Koeki Kids Project) の目的・趣旨	4
2・平成22年度事業実施メンバー	5
3・平成22年度事業実施内容一覧	6
4・小学生向け公益学教育プログラムの開発と手法の研究の報告	9
5・大学生による小学校での公益実践授業の実施報告	18
6・公益コミュニティサポーター養成の検討・長崎視察研修報告	37
7・メンバーによる活動報告ならびに感想	47
Koeki Kids Project 2010を振り返って	60



# 1. 「小学生のための実践授業『公益学をはじめよう』の実施と公益コミュニティサポーターの養成」事業 (Koeki Kids Project) の目的・趣旨

東北公益文科大学は、「公益学」の構築とそれに基づく教育実践により、市民一人ひとりが安心して日々を送り、将来に夢を描くことのできる真に豊かな公益社会の実現に貢献することを目的としている。公益とは「行政、企業、NPOなど、また市民一人ひとりが、自分を越えた他者への尊重を原点とし、生活、労働、地域社会、環境などをより良く調和のとれたものにするための活動や考え」であり、地域社会や国際社会が抱える様々な課題の解決のためには、立場を超えて、一人ひとりの個人が公益の視点を理解し、それに添った活動ができることが必要であると考えている。

本事業では、家族、地域コミュニティや学校などの多様な主体に支えられ、生活を送る子どもの頃に「公益」の視点で物事を考える機会があることの重要性に立脚し、そのために、大学の学生・教員と地域の小学校の教員が協働して「公益を考える授業」を行うとともに、地域市民や保護者を対象とした「公益コミュニティサポーター」養成講座を試行し、地域全体で公益的視点の養成、公益活動の支援を育む土壌を作るための検討を行うことを目的としている。

本学では、平成17年に初めて本学学生（林久美子）が遊佐町立高瀬小学校6年生を対象に「公益とは何か」をテーマとした授業を行い、また、平成14年度からは公益実践活動支援冊子編集委員会が組織され、庄内地域の小・中・高・大の教員の協働による副読本『公益のふるさと庄内』の編集や公益の心を育むための教育に関する研究会などの継続的な活動を行ってきた実績がある。これらの経緯を踏まえて、平成22年度に3年計画の事業として「小学生のための実践授業『公益学をはじめよう』の実施と公益コミュニティサポーターの養成」事業（以下、Koeki Kids Project）が公益財団法人日本財団より助成事業として採択された。

尚、平成22年度事業計画は三つの柱から構成されている。一つ目は「小学生向け公益学教育プログラムの開発と手法の研究」、二つ目は「学生による小学校での公益実践授業の実施」、そして三つ目は「公益コミュニティサポーター養成講座の開催に向けた検討」である。本報告書ではこの三つの柱に添って事業実施報告を行う。

## 2.平成22年度事業実施メンバー

東北公益文科大学	大学院博士課程3年	林久美子
	公益学部4年	近藤良輔
	公益学部4年	大沼雅裕
	公益学部3年	齋藤春樹
	公益学部3年	志賀美和子
	公益学部3年	照井大輔
	公益学部3年	中川知世
東北公益文科大学	教授	國眼真理子
	准教授	澤邊みさ子
	准教授	武田真理子
東北公益文科大学	地域共創センター事務長	浦山恭子
	地域共創センター職員	関恵理子

※ご協力を頂いた組織・学校:

公益教育研究会(富樫春夫会長)  
酒田市立浜田小学校(富樫春夫校長)  
酒田市立富士見小学校(齋藤のり子校長)  
酒田市立十坂小学校(鈴木清人校長)  
公益財団法人日本財団  
VITA+(西田みづ恵代表)

### 3.平成22年度事業実施内容一覧

準備委員会	教員・職員・院生スタッフ参加
5月19日(水)	ミーティング(共同研究室E)
6月15日(火)	ミーティング(共同研究室E)
6月22日(火)	ミーティング(共同研究室E)

定例会	内 容
(※定例会は毎週月曜日)	18:00～ 共同研究室E
7月 9日(金)	自己紹介、興味を持っている事、今後やってみたいことなど
7月20日(火)	自己紹介の続き、十坂小(7月15日打ち合わせ)の報告など
7月30日(金)	プロジェクト名決定 など
8月23日(月)	長崎ヒアリング打ち合わせ
8月27日(金)	長崎ヒアリング打ち合わせ
9月29日(水)	10月5日の第2回学内説明会の準備 など
10月 4日(月)	10月5日の第2回学内説明会の準備 など
10月25日(月)	公益授業について林の体験談 など
11月 1日(月)	浜田小での授業について、ロゴマーク、冊子のリニューアルについて など
11月 8日(月)	浜田小での授業について、ロゴマーク、冊子のリニューアルについて など
11月22日(月)	浜田小公益授業(11月15日)のふりかえり、ロゴマーク、ワークブック など
11月29日(月)	浜田小道徳授業:林(11月26日)のふりかえり、ワークブック、12月3日～5日の合宿について
12月14日(火)	浜田小道徳授業:近藤(12月1日)のふりかえり、ワークブック、ロゴマーク、今後のスケジュール
1月17日(月)	ワークブックミーティング
1月24日(月)	ワークブック作業
1月31日(月)	ワークブック作業
2月8日(火)	ワークブック作業



2月14日(月)	ワークブック作業
2月17日(木)	模擬授業検討会
2月25日(金)	模擬授業検討会
2月28日(月)	模擬授業検討会
3月 2日(水)	模擬授業検討会
3月 3日(木)	模擬授業検討会
3月 4日(金)	模擬授業検討会

実践授業	会場・内容・担当者等
11月15日(月)	浜田小学校 4年1組、2組 →公益授業 担当:林久美子
11月26日(金)	浜田小学校 4年1組 →公益教育研修会授業研究ゲスト・ティーチャー 担当:林久美子
12月 1日(水)	浜田小学校 4年2組 →道徳の授業ゲスト・ティーチャー 担当:近藤良輔
12月 8日(水)	富士見小学校 6年1組、2組、3組 →公益授業 担当:齋藤春樹、武田真理子

勉強会等	会場・内容
10月13日(水) 13:30～	十坂小学校鈴木校長先生 「十坂小学校の教育目標と学校運営について」 十坂小にて
12月20日(月) 18:00～	浜田小学校朝岡浩子先生「浜田小での公益授業や 道徳の授業ふりかえり、子どもとの接し方など」 公益大にて
1月18日(火) 18:15～	國眼眞理子先生「児童の発達心理学入門」 公益大にて
1月26日(水) 18:30～	西田みづ恵さん「ケースメソッドによる高校生向け授業体験会」 公益大にて
2月15日(火) 10:20～	浜田小学校(きらやか銀行行員による、お金に関する 授業)

公益教育研究会との連携	会場・内容
6月1日(火) 18:00～	公益教育研究会 会議 浜田小にて
8月4日(水)～5日(木)	公益教育セミナー 八幡町にて合宿セミナー
11月26日(金)	公益教育研究会 浜田小での研究授業

その他の活動	会場・内容
7月1日	第1回学生メンバー説明会
10月5日	第2回学生メンバー説明会
8月31日～9月2日	視察研修(長崎県)
12月3日～5日	合宿(鶴岡市温海地区)
2月26日	「公益大ウィークin山形」発表会(東北公益文科大学 地域共創センター主催 山形市)
3月1日	ワークブック発行
3月6日	「公益大ウィークin山形」発表会・模擬授業*(山形市)

\*模擬授業は志賀美和子、中川知世が実施した。

## 4.小学生向け公益学教育プログラムの開発と手法の研究の報告

### (1) 勉強会

実践授業をどのように進めるかを話し合うために必要な知識の修得を主な目的とし、Koeki Kids Projectメンバーの企画・立案により様々な講師を招聘し、勉強会を行った。

以下はその主な内容についての報告である。

#### ①酒田市立十坂小学校での勉強会

日時：2010年10月13日(水) 13:00～15:00

場所：酒田市立十坂小学校

内容：

- ・講演「十坂小学校の教育目標と学校運営について」  
講師：酒田市立十坂小学校 校長 鈴木清人先生
- ・十坂小学校校内見学。地域に開放された学校づくりについて学習した。
- ・授業や学校運営に関する質疑応答、ディスカッションを行った。

子どもたちが興味を持つような授業にするためには、日ごろからの交流が必要であること、授業を行う学校別に地域活動について取り上げること、クラスごとの雰囲気にあったスタイルを取ることが重要であることを学んだ。





②実践授業の振り返りに関する勉強会

日時：2010年12月20日(月) 18:00～19:00

場所：東北公益文科大学・共同研究室E

内容：

- ・ 講義「公益の心につれて」

講師：酒田市立浜田小学校 教諭 朝岡浩子先生

- ・ 11月26日の実践授業の内容を振り返った上で、それに対する児童の感想文をもとに子どもたちの心の動きや授業の実践に関する課題を学んだ。授業を実践する前に担任の教諭と何回も打ち合わせを行うことの重要性についても学ぶことができた。



### ③児童の発達心理に関する勉強会

日時：2011年1月18日(火) 18:15～20:00

場所：東北公益文科大学・共同研究室E

内容：

- ・講義「思いやりの発達心理学入門」

講師：東北公益文科大学 國眼眞理子教授

- ・浜田小学校、富士見小学校における実践授業を踏まえて、発達心理の理論と実際の授業の反応等とを比較し、具体的な質疑応答やディスカッションを行った。また、児童の年齢や性別に応じた自己・他者認識と公益を教えることについて研究を深めた。





#### ④ジュニア・ケースメソッドに関する勉強会

日時：2011年1月26日(水) 18:30～21:00

場所：東北公益文科大学・中研修室2

内容：

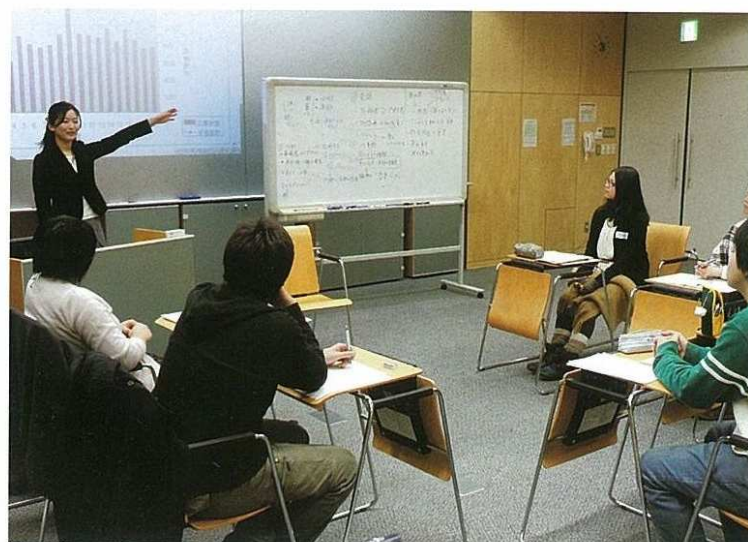
- ・ 講演「地域における問題発見・解決型人材育成のためのケースメソッドによる高校生向け授業体験会」

講師：VITA+代表 西田みづ恵先生（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程在籍、佐賀大学非常勤講師）

- ・ ジュニア・ケースメソッドの体験。（アイスブレイク→ケースのおさらい→クラス・ディスカッション→グループ・ディスカッション→プレゼンの流れの体験。）

当日のケース「NPO法人砂浜美術館—これからのTシャツアート展とまちづくり—」について具体的なディスカッションを展開した。

- ・ 体験会終了後の交流会において、慶應義塾大学学生がVITA+を立ち上げて、高校生を対象にジュニア・ケースメソッドを実施してきた目的や理念、事業運営の課題等についてより具体的な話を伺った。





## (2) 公益教育研究会との研修活動

公益教育研究会は、平成14年度から16年度の3年間、山形県庄内総合支庁事業として公益実践活動支援冊子編集委員会により作成された副読本『公益のふるさと庄内』（「自然と人」「人と人」「地域と人」の三部作）の活用と、庄内地域の小学校から大学までの教員有志が協働して「公益を考える授業」を研究し、実践することを目的として平成17年に発足した任意団体である。

平成22年度は、公益教育研究会主催の二つの研修会にKoeki Kids Projectメンバーも参加させて頂き、庄内の小学校教諭や山形県職員との交流をはかった。

### ①平成22年度 公益教育セミナー

日時：2010年8月4日(水) 18:30～5日(木) 9:00

場所：鳥海高原家族旅行村・集合型ケビン（酒田市草津字湯ノ台149）

テーマ：「いのち・まなび・かかわり～公益の心を育む～」

参加者：小学校教諭15名、山形県庁職員1名、東北公益文科大学教職員5名、Koeki Kids Project学生メンバー6名

研修内容：

- ・交流会（夕食）
- ・講演「公益の心を育む」 講師：齋藤辰典先生（元小学校長）
- ・東北公益文科大学学生発表「私たちの考える公益」  
（発表者：照井大輔、大沼雅裕、齋藤春樹、中川知世、近藤良輔、志賀美和子、林久美子）
- ・ディスカッション



②平成22年度 公益教育研修会

日時：2010年11月26日(金) 13:30～16:30

場所：酒田市立浜田小学校

テーマ：「いのち・まなび・かかわり～学校現場での実践VI～」

参加者：小学校教諭44名、酒田市教育委員会2名、遊佐町教育委員会1名、庄内教育事務所2名、山形県庁職員2名、東北公益文科大学教職員3名、Koeki Kids Project学生メンバー6名

研修内容：

- ・ 研究授業（テーマ「かかわりの中で、共に高め合う子どもの育成」）

(1) 第4学年 道徳 「夢を持って生きよう 4-(2) 勤労」

授業者：酒田市立浜田小学校 教諭 朝岡浩子先生

ゲスト・ティーチャー：東北公益文科大学大学院博士課程 林久美子

(2) 第5学年 総合的な学習の時間 「ボランティアをしてみよう」

授業者：酒田市立浜田小学校 教諭

齋藤恵美先生、高橋奈緒美先生、佐藤篤士先生

- ・ 研究協議

(1) 第4学年分科会

助言者 庄内教育事務所 指導主事 佐藤寿尚先生

(2) 第5学年分科会

助言者 酒田市教育委員会 指導主事 阿部周先生

- ・ 全体会

講演「公益の心を育む教育活動の創造」

講師：東北公益文科大学 國眼眞理子教授



**【発行】**

東北公益文科大学

(東北公益文科大学 地域共創センター)

山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1 (〒998-8580)

電話 0234-41-1117 FAX 0234-41-1134

URL: <http://kyoso.koeki-u.ac.jp>



**日本財団** 助成事業  
The Nippon Foundation